Tosa Junior & Senior High School

振興会だより

発行者　振興会会長　徳永俊一　　編集責任者　広報担当　島内祥宏　　2006 年（平成 18 年）12 月発行

土佐校 新時代へ

◆運動会桟敷席アンケート結果＆総括

◆学年別履修対策について

◆第 12 回連絡協議会報告

◆ガーナ高校生来高

川﨑幾三郎理事長（右端）、池上校長が設計業務の契約調印式に臨む

◆校長室だより

◆会長挨拶

◆支部だより

◆高校野球台湾遠征選抜メンバーに本校高１生　武田薫君選ばれる！

◆文化事業報告（スーパーバンド・コンサート）

No.13

～会長挨拶～

振興会会長　徳 永　俊 一

11 月 1 日、安井建築設計事務所・西森建築設計JVとの新校舎の設計契約が、川﨑幾三郎理事長ご出席のもと、正式に締結されました。これから、基本設計・実施設計・施工工事の開始と実質的に動いていくわけです。「順調にゆけば」現高1と中3、中2は平成20年の3月末で引越しが出来、新学期(4月)からは、新校舎・高校棟で授業開始となる予定です。

一昨年より、新校舎建築の検討委員会等の校舎建築に関わる様々な話合いの場に携わってきました。この間、現在の土佐校と全く同じ時期に建てられた、高知県立中央病院・市民病院・南国消防署等の規模が大きく、かつ、高い安全性が求められるような公共の建物が次々と取り壊され、新しい施設として建て替えられています。この様な施設と同じ、前々回の耐震基準で建築された現在の土佐校の建物は、社会的な耐用年数はすでに過ぎていると判断されます。何よりも、子供たちの安全面、学習環境の向上等を考えると、出来るだけ早期に新しい校舎が建築される事が望まれます。理事会、教職員の皆様、同窓会、振興会など関係の皆様が協力一致して、土佐校の新しい歴史を築いていけることを切に願って私も、振興会を代表して頑張って参りたいと存じます。

会員の皆様におかれましては、時節柄お体大切にお過ごし下さいますようお祈り申しあげます。良いお年をお迎え下さい。

土佐中・高等学校　新校舎建築プロジェクト

土佐中・高等学校は、創立百周年にむけて、より一層の教育の充実と、今世紀前半に予想される南海地震に耐えうる安全な環境の確立を目的に、平成 21 年の完成をめざして、校舎改築にむけた作業をスタートさせました。

めざすのは

①安全で健康的な環境で、のびのびと安心して学校生活を
②新しい設備をいかして、より活力ある文武両道の達成を
③豊かな語らいの場が、土佐に集う人みんなの絆を確かなものに

スケジュールは

①設計業者選定　…終了
②設計業務終了　…平成 19 年3月末日まで
③長浜グラウンド完成　…平成 19 年3月末日まで
④工事発注・着工　…平成 19 年7月末日まで
⑤工事完成　…平成 21 年8月末日まで

学費負担は

この校舎改築のためには、保護者の皆さまに次のような学費負担の増額をお願いせざるをえません。どうかご理解とご協力をお願いいたします。

1．平成 19 年度より実施
①毎月納入金　3万7千円
②入学時納付金
高校16万円　（土佐中から土佐高への入学者は10万円）
中学26万円　（入学金 16 万円＋建築協力金10万円）
③学校債
一口10万円、一人一口以上
（入学時納付一高校卒業時に無利息で返還）

2．平成 21 年度以降の実施予定
①毎月納入金　4万円
②入学時納付金
高校26万円　（入学金 16 万円＋建築協力金10万円）
（他中からの入学者のみ、土佐中からの入学者は10万円）

校長室だより

学校長　池上武雄

師走の候、振興会の皆々様にはますますご健勝のこととお慶び申しあげます。平素は学校運営につき格別のご支援、ご協力を賜り心から感謝申しあげます。

平成18年度支部総会への出席

恒例の支部総会への出席につきましては、6月17日香南支部を皮切りに11月11日嶺南支部までの15支部総会に出席させていただきました。開催日の重なった土佐山田、初月、朝倉・鴨田の3支部総会を欠席することとなりましたことをお詫びいたします。総会で私が申しあげました主題は、一、新校舎建築プロジェクトの推進、二、学納金等の値上げのお願いの二つに絞ってお話申しあげ、ご理解、ご協力をお願いいたしました。

皆様からは、沢山の質問や貴重なご意見をいただきました。今後の建築プロジェクトの推進や学校運営に生かして参りたいと考えております。有難うございました。

必修科目の履修漏れ問題について

今般進学校を中心として全国の高校で発生しました必修科目の未履修問題につきましては、本校に於いても数科目の履修漏れを発表し多くの指弾を受けたことは誠に申し訳なく心からお詫び申しあげます。問題発生時から生徒の皆さん並びに保護者の皆様に大変なご心配、ご迷惑をお掛けいたしましたが、本件については全て校長の責任であり深く反省いたしております。幸い文科省の救済策も出され、本校高3生への補習は、「70時間とレポート提出」ということでセンター試験や大学入試に極力影響のないよう補習スケジュールを考えました。その結果例年1月末に行っております卒業式を3月3日に延期せざるを得なくなりました。すでに準備を進めておられた関係者の皆様にご迷惑をお掛けすることとなり申し訳なくお詫び申しあげます。また全員未習となっていた「情報」については、月曜日の午後の時間で高知工科大学の島村和典教授（本校42回生）や岩田誠教授（お子さまが在校生）に講堂で特別講演をお願いし高3生全員が受講するなど補習を進めております。

今回の未履修問題につきましては、本校としても深く受け止め、十分な反省のうえ、その解消をはかるべく早速平成19年度から実施する新しいカリキュラムを検討してまいりました。

検討された新カリキュラムは、必修の未履修科目をなくし、規定通りの正しい形にするほか、生徒の必要に応じて科目選択ができるという従来の本校独自のものは残したものとなっております。ただこの実現のためには来年度から中学・高校ともに週34時間が必要となる為、従来の月曜日の4時限授業は本年度限りとなります。

本校は従来から中高一貫教育を標榜し、高校での学習を中学で先行修得するという在り方が否定される事態に大きなとまどいと残念な思いを感じてはおりますが、ただ法を守ることへの言訳はできません。来年度から新しいカリキュラムのもとで、学力の向上はもとより、「報恩感謝の理念のもと人格の完成と社会に貢献する人材を育成する」という建学の精神に基づいて、全教職員が一丸となって取り組んでゆく所存でございますので、どうかご理解を賜りますようお願い申しあげます。

新校舎建築プロジェクトの推進状況

7月13日の評議員会、理事会でCM会社最終選考に残った3社の中から㈱三菱地所設計様とのCM契約締結を承認いただきました。以降同社のアドバイスをいただきながら設計業者の選定作業を進めました。7月31日設計の公募要領を発表、8月24日応募締切時点で5つの設計共同体から応募がありました。厳正審査の結果、3共同体に絞って第二次審査の設計提案書の提出をお願いし、ヒアリングも実施いたしました。その結果、10月6日の理事会で安井建築設計事務所・西森建築設計JV様を最優秀応募者として承認いただきました。11月1日川崎幾三郎理事長出席のもと正式契約の締結のはこびとなりました（表紙写真）。安井建築設計JVが最優秀と評価されたのは、設計力のレベルの高さによるもので、特に地震対策、校舎の全体配置と近隣への配慮、建替え手順等の面で優れた点が認められたからです。（表紙および、本校ホームページに外観イメージ等を載せておりますのでぜひご覧ください。）

校内では11月1日の臨時職員集会をスタートとして基本設計作業をすすめております。18の設計分科会を先生方で組織し、設計JVチームとで話し合いを行い、出来るだけ先生方の意見を反映した平面計画をまとめていただく予定です。

なお長浜グラウンド造成は、天候にも恵まれ順調にすすめられており明年2月末にはほぼ完成の見通しがたっております。

寒さに向かう折柄、振興会の皆々様のご健勝を祈念申しあげます。よいお正月をお迎えください。

運動会桟敷席アンケート結果＆総括

振興会理事　福島　高明
（協力　体育主任　福留正仁先生）

運動会に桟敷席が「お目見え」

9月23日開催の運動会に今年初めてお目見えした桟敷席。

振興会では、この桟敷席の利便性や問題点等について、当日運動会にお越しの保護者の皆様と先生方、合わせて五百名以上の皆様にアンケート調査とヒアリングにご協力頂きました。また、この調査を実施するにあたっては、各支部長さんにご尽力頂きました事、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。以下が、アンケート調査の結果です。

アンケート結果

桟敷席については、546名の方々にご回答いただき、総じて良いという評価を頂いております。

また、来年度の運動会での設置については、増設のご意見が半数と一番多く、続いて現状維持の2基の37％と約9割は継続設置に賛成という結果が出ております。

ただし、廃止したほうが良いというご意見については、ヒアリング調査によって顕著になっており、その内容を以下にまとめました。

ヒアリング調査について

◇桟敷席の問題点

先生方・保護者の方々の共通意見

・視界は良いが、スペース効率は劣る。（1テントで百席以上収容）

・桟敷席の裏が子供の遊び場と化していて、安全管理上、問題がある。

・桟敷席を設置したことにより、その周囲のテント後方の観客及び桟敷席後方の観客の視界が遮られる。その為、入門場付近に観客が集まり、支障が出た。

・段差が大きく危険である。

・桟敷席に別途階段が必要である。

・日除けの幌が必要である。

先生方からのご意見

・転落事故が起きた場合、誰が責任をとるのか。

・桟敷席の片付けにかなりの時間を要するので、それに比べるとテントの方が早く片付く。

保護者の方々からのご意見

・桟敷が邪魔になって、桟敷席前

方の視界が悪い。
・桟敷後方から、競技が見えない。
・日傘が危険。
・桟敷席とはいえ、先に席をとった人が有利であり、モラル低下が助長される。
・桟敷席の設置で、全体として通路が少なく、人が通路によどんで、移動が困難である。
・桟敷内の通路がないので、いったん入ってしまうと、なかなか出られない。

◇その他提案

・遠方からの高齢者の為の優先席が欲しい。
・桟敷席を後方に下げて、その部分にブルーシートを敷いて、収容率を上げる。
・桟敷席の設置場所を工夫する。（テント両側・東西の両端）
・桟敷の三段は除けた方が良い。
・席取りの誘導の仕方が良かった。
・席取りしたまま、運動会が始まっても何時間も来ない。あるいは、席に荷物を置いたまま、長時間中座するのはモラルに反する。
・休憩テントの設置は大変良かった。来年も是非継続して欲しい。
・高齢者用テントが欲しい。

桟敷席設置の総括

平成18年度の土佐の名物運動会も、先生方のご指導、そして保護者の皆様のご協力に支えられ、無事終了致しました。本当にありがとうございました。

今回のアンケート結果を見ると、設置に賛成の意見が大半ですが、ヒアリング調査からは、モラルの問題や安全性の観点から見たリスク、また機能性への配慮不足など、様々な問題点が浮かび上がってきました。それらの課題の中でも、特にモラルの問題に関しましては、保護者の皆様方にも改めてご協力をお願い申し上げます。

次年度の桟敷席設置につきましては、これらの貴重なご意見を参考にさせて頂きながら、慎重に検討していきたいと思います。

先生方や保護者の皆様方には、お暑い中、アンケートにご協力頂きましたこと、改めて心より御礼申し上げます。

学年別 履修漏れ対策について

広報担当　小村　彰　先生

＊未履修科目の問題について

今般、全国的に大きく取り上げられましたいわゆる履修漏れ問題につきましては、保護者の皆さまに大変ご心配をおかけしました。当局からの指示に基づき、指導要領の定めに形式上も沿うように、かつ生徒たちにできる限り負担をかけないように、さまざまな角度から検討し、以下のような対策を講じることにいたしました。保護者の皆さまのご理解とご協力をお願い致します。

(1) 高校3年生について

合計70時間の補習授業を行います。11月・12月の月曜日の午後3回・センター試験後の平日・および国公立2次試験（前期）終了後の平日を利用します。この補習が完全に終了するまで卒業式は延期し、3月3日に卒業式を行うことにしております。

(2) 高校2・3年生について

これまでのカリキュラムで履修できていない科目を組み込んだ新しいカリキュラムを作成しました。履修しなければならない教科数・単位数が増えることから、来年度以降月曜日も授業を6時間実施し、週34時間授業の体制を復活させます。詳細につきましては、各学年で順次説明を進めております。

(3) 中学校

中学校についてはこれまでのカリキュラムでもとくに問題はなかったのですが、高校の授業との関係から、来年度以降中学も月曜日が6時間の週34時間授業の体制に戻ることにしています。

高校卒業式は3月3日（土）

来年度より月曜日は6時限

ガーナ生徒のホームステイについて

教頭　浜田　俊充　先生

9月に入り、ガーナからの生徒たちが20名来高しました。始業式から始まり、本校を中心としほぼ一週間高知で過ごしました。その間、2日間にわたり本校生のご家庭でホームステイをさせていただきました。感謝いたします。最初はアチモタ高校生だけということでしたが人数が集まらず他校生も入ったこと、女子生徒が増えたこと等でいろいろご迷惑をおかけしました。せっかく受け入れを申し出ていただいた方にもお断りしなければならないことにもなり、申し訳なく思っています。

ホストファミリーの方々からは、多くのご感想やご意見をいただきました。私なりにまとめてご報告いたします。

結論から先に言わせていただくと、次のようなご意見に集約されるのではないかと思います。**「お互いに相手の国のことを余り知らなかった。もう少しお互いの国を理解して接すると、もっと深くわかりあえたことと思う。」** 私達もそうでしたが、彼らも相手国に対する事前学習がなされていなかったように思います。そのため学校の校風、家庭環境、個人の性格の差が生活態度にかなり直接出てきたのではないでしょうか。対照的な例をあげてみます。

GOOD POINT

☆日本食にも挑戦した。カラフルできれいと喜んでもらった。☆早寝早起きの習慣があった。家では父親の影響でTVはニュースを見ないとのこと。☆生活リズムがすごくしっかりしていた。ちょっとはにかんでいて、思春期の女の子を感じた。子供の育ちは、どこの国でも同じだと思った。☆日本人の息子の友人が来た時と同じようにしたが、問題なく過ごしてくれた。言葉の分からない祖父母とも通じ合っていたように思った。☆英語の必要性を実感した。子供達にもかなり良い刺激になった。☆外国人（ガーナ人）に対する偏見がなくなった。同じ人間とわかっていも国や風習が違うことで不安があったが、それは消えた。☆何事もそうだがやる前は不安があるが、ちょっと勇気を出してやってみる大切さを感じた。

NG POINT

☆非常に小食で驚いた。食の世界のチャレンジ心が全くなかった。☆持参したPSPのゲームに熱中し弟のPSPと交換して二人で興じたりし、ガーナについて質問しても話が弾まなかった。☆挨拶をするとか感謝の気持ちを表すとか、日本人には当たり前のことができない学生だった。☆会話がなかなか進まず、退屈させているのではと、気遣うこともあったが貴重な経験をさせてもらった。

色々な問題点もありますが日本人同士の場合も含め、習慣や考え方も違った人間が一緒に生活をするという「出会いの場」を経験するのは大切なことだと思います。また、「学生の交換で最も求められるのは、文化の交流ではないでしょうか。日本の文化に触れたい、知りたい、ガーナの文化を伝えたいという意欲に富んだ学生の派遣が望まれる。」とのご意見は、今後外国との交流を深めていくための重要な留意点だと思います。

最後に、ガーナの生徒は来高前に東京の原宿での「スーパーよさこい」に参加しました。これには、麻布高校、女子学院の生徒と共に本校女子生徒5名も参加しました。その感想を簡単に紹介して終わります。

最初は不安や心配がありましたが、文化や言語が違う私達が「よさこい」という踊りで一つになれたことは感動でした。夜の麻布高校生も交えた自主練、ガーナの遊びを楽しんだこと、ガーナ大使館に夕食を招待されたこと、今回の体験はいろんなことを学ばせてもらって本当に良かったと思います。

（追記）以上の感想やご意見は、抜粋や編集をさせて頂きました。文責は全て浜田にあります。

文化行事

2006.11.17
土佐校体育館にて

スーパーバンド
元気出して行こうぜ!!
コンサート

06年11月17日、今年度の文化行事としてスーパーバンドの「元気出して行こうぜ!!」コンサートが開催されました。中学1年生から高校3年生まで全員が体育館に集まって，午後1時45分～3時までのコンサート。

高知から今年の9月にメジャーにデビューしたスーパーバンド。スーパーバンドと土佐校の関係は今年の1月にさかのぼります。

現在、高知大学に通っている本校卒業生の1人が、05年9月に、EBウイルス感染が原因の血液腫瘍を発症していることがわかりました。根治治療としては骨髄移植が必要でした。彼の病気を知った友人達がドナー登録を呼びかけ、その輪が広がっていきました。

骨髄移植は、白血球の型（赤血球にA・B・O・AB型があるように白血球にも型があります）が一致しないと移植はできません。彼に一致する骨髄液を探す取り組みは，彼自身の「自分だけではなく、骨髄移植を望んでいるすべての患者さんのために」という願いから、骨髄バンク8万人登録運動に発展していきます。

このことを知ったスーパーバンド。今年の1月に彼を励まそうと「笑顔のゆくえ」を作曲し、また、自ら彼の家を訪問し小さなコンサートを開き励ます。その後、「笑顔のゆくえ」は「骨髄バンク8万人登録運動」の応援歌として、さらに、骨髄移植推進財団の公認ソングとして歌われています。

こんな関係もあり、4月には本校のブラスバンドのスプリングコンサートで共演し、そして、今回の文化行事でのコンサートになりました。

「元気出して行こうぜ!!」コンサートで体育館には、スーパーバンドの歌声と共に、生徒達の元気な声援がこだましていました。

スーパーバンドのお二人、プラスサムの皆様、ありがとうございました。これからのご活躍を生徒・教職員一同、心からお祈りしております。

（土佐校HPより転載）

支部だより ～高知中央支部～

平成18年度 支部長 石本 美智

昭和、新堀、追手前支部が高知中央支部（会員102名）と名前が変更されました。支部総会は、池上校長、各学年から1名の先生方、振興会本部の徳永会長と北村副会長を会員50名がお迎えして、9月25日に開催されました。決算報告と新役員の選出後、新校舎建築の経過とプロジェクトの説明がありました。懇親会では、先生方、本部委員、保護者の情報交換が和やかな雰囲気で行われ、生徒の環境を知る絶好の機会となりました。来年度は参加者が増え、より活発な機会となることを願います。

高校の単位未履修の件が大きな課題になっています。教育基本法の第1条は教育の目的について「教育は、人格の完成をめざし、平和的な国家及び社会の形成者として、真理と正義を愛し、個人の価値を尊び、勤労と責任を重んじ、自主的精神に充ちた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない。」と述べています。激動の世界情勢の中、さらに、社会的責任の重い人々がその人格について疑問視される言動が目立つ昨今、教育によるバランスの取れた人格形成は必要不可欠なものと思われます。

教養の基礎となる近代史と現代科学全般の修得は将来の日本の担い手の人格形成に大きく寄与すると考えられます。大学受験体制がこの教育の目的の達成を難しくしている中、伝統校に対しては大きな期待をしてやみません。

07年度は新校舎の工事と未履修単位の補講が重なり、教室滞在時間は例年より長くなります。工事には騒音、溶剤臭、取り壊しに伴う粉塵が伴います。化学物質過敏症やアスベスト被害など長期的な健康問題が提起される中、学校側には安全で快適な学習環境の確保に関する具体案を報せて頂き、さらに、保護者と生徒に対して対話の機会と窓口を作っていただければと思います。たとえば、「夏休み中に高知女子大学構内で補講を行い、その期間中に危険な工事を集中して行う」などいろいろな意見があると考えられます。中央支部は学校に関する問題に対して、支部会員の意見を基に積極的に提案、発言することで土佐中高等学校の発展に寄与していきたいと考えています。

第12回連絡協議会報告

振興会副会長　島内　祥宏

12月6日午後4時より土佐中高等学校2階会議室において、学校と振興会とで定例の連絡協議会が行われました。

まず開会にあたって、徳永振興会会長より挨拶が述べられました。続いて**池上校長より**次のように報告が行われました。

1．振興会支部会へ出席し、校舎建築プロジェクトの推進報告と学納金値上げについての説明、そして履修漏れ対策のついてのお詫びと説明をいたしました。

2．校舎建築プロジェクトは設計業者が決定し、基本構想に基づいて18の分科会と設計業者JVとで検討中です。3月末までに実施設計を完了する予定です。なお、長浜グランド整備工事は順調に進捗して2月末には完了する予定です。

3．募金活動については、資金専門委員会で活動方針と内容を詰めていただいております。

次に各部より、次のような報告と説明が行われました。

《教務部より》

・例年の入試対策の補習日程の説明と履修漏れ対策の補習日程の説明。

・来年度以降は週34時間授業（月～金曜日6時限・土曜日4時限）の新しいカリキュラムで行う。

《進路部より》

・平成19年入試推薦AO入試合格者の報告。

・志望大学調査の結果報告。

《生徒部より》

・自転車のルール違反に対する取り締まり強化の対策を学校で行っている。

・本年度の高3生がしっかりしているので、校門指導の生徒数が半減している。

《図書部より》

・現在、中学生を中心に利用が多い。

・本年の読書感想文コンクールは良い結果が出そうだ。

《特活部より》

・本年度行ったスーパーバンド公演は近隣に騒音で若干ご迷惑をおかけしたが、出席した生徒には好評であった。来年も開校記念日前後に何かを企画したいと考えている。

・2月の合唱コンクールと第18回向陽祭の準備中である。今年から生徒の発案でパンフレットの広告協賛を集めに生徒がまわっている。

・現在文化部に314名運動部に899名が所属している。

《広報部より》

・学校説明会の報告とまとめ。

・全校アンケートの結果、履修漏れ問題の影響は無いようだ。

《事務長より》

・本年の高3生の学納金の納付方法が卒業式が3月3日に行われるため、例年とは変更になっている。

・新入学生の学納金の金融機関からの振込にあたって、本人確認が必要になるため、その対策を考えている。

次に**《振興会福島理事より》**

・運動会桟敷席のアンケート結果の報告と説明。

・賛成が多数を占めているが色々な問題点が指摘されているので、今後慎重な検討が必要だと思われる、との報告が行われました。

次に**《振興会北村副会長より》**

・運動会での席とりの方法で、10名ずつ入場してもらったのは良かった。

・休憩席も好評だった。

・次年度より、がんばっているクラブに振興会から10万円程度の補助金を出すことを3月の評議員会で検討したい、との報告と提案が行われました。

最後に、徳永振興会会長のまとめの挨拶で連絡協議会を終わりました。

皆さんお疲れ様でした。

編集後記

この振興会だよりは、毎回編集会議を開いて、どのような話題を取り上げるかを、皆でアイデアを出し合って決めています。そして、それぞれの記事の担当を決め、その担当者が取材をしたり、資料を集めたり、あるいは、校長先生をはじめとした先生方や支部長さんなどに原稿の依頼をします。特に、冬の号が発行される年末のこの時期は、皆さんお忙しいので、記事も締切日に間に合わない事がしばしばありますし、原版があがった後も、誤字脱字のチェックもあり、バタバタしながらやっと仕上がります。そんな風にして、今回も何とか締め切り日に印刷屋さんに持ち込む事が出来ました。関係者の皆様、そして読んで下さっている会員の皆様本当にありがとうございます。

会員の皆様には、学校についての色々な情報をなるべく鮮度を保ったままでお届けしたいと考えていますし、皆様の関心の高い話題も取り入れるよう心掛けています。ただ、年二回の発行なので、すべての記事がタイムリーという訳にはいきません。今回の幾つかの記事のように、すでに学校のHPなどで公開されているものでも、皆様に知って頂きたいものは、内容に盛り込みましたので、ご了承下さい。

それから、第8号から13号まで、つたないながらレイアウトを担当させていただきましたが、次年度の振興会だよりからは、プロの方にレイアウトをお願いする事になりました。更に読みやすい振興会だよりに生まれ変わりますので、どうぞご期待下さい。

末筆ながらどうぞ良いお年をお迎え下さいませ。

振興会理事 西村希多子